

## 圓徳寺真宗関係史料 一括(12点)

### 圓徳寺真宗関係史料

えんとくじしんしゅうかんけいしりょう

### 分野／部門

有形文化財／歴史資料

### 所有者

宗教法人 圓徳寺(えんとくじ)

### 所在地

大阪市生野区巽中 4

### 紹介



### 方便法身阿弥陀如来画像

圓徳寺に伝来する真宗関係史料のうち、方便法身阿弥陀如来画像(ほうべんほっしんあみだによらいがぞう)は、本願寺教団の勢力が浸透する中で下付(かふ)された本尊が在地に伝来した希少な事例である。

裏書から、蓮如在世中の明応 4 年(1495)に実如が、圓徳寺の開基と伝える「北大路法金」の門徒に下付した本尊であることがわかる。

法金の門徒集団は『天文日記』にも登場し、天文 8 年(1539)6 月 29 日条には「大地法欽跡」と記され、有力な門徒集団であったことがうかがえる。